

みて下さい」。尾崎会員→「大矢先生に心より御礼申し上げます」。関山会員、結城会員、安倍会員、玉井会員、山崎会員、碓井会員、内藤会員→「市川先生の葬儀に行っております。大矢先生30周年記念絵を有り難うございます」。以下、感謝をこめてニコニコへ。野島会員、安藤亨会員、加納会員、箕輪会員、田内会員、鴨志田敏彦会員、井上久会員、北島会員、渡邊会員、岡本会員、小塚会員、鈴木会員、嶋会員、山口会員、安藤志子会員、吉田会員、高橋会員、中島会員、井上勇会員。

<出席委員会> 安藤登委員長

	会員	出席	欠席	メイク	出席率
第1443回	46*	42	4		91.30%
第1442回	46*	37	9	4	89.13%

※出席免除会員2

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	35件	35,000円	1,065件	1,154,000円
財団	3件	0円	26件	351,200円
米山	5件	0円	53件	498,000円

本日のプログラム

地区協議会出席報告

<職業奉仕委員会> 鴨志田敏彦委員

先日の地区協議会において、3人の講師の方から講義を受けました。職業奉仕とは職業を通して他人に幸福をもたらす、他人に奉仕することです。ドイツでは一業種1人を守りつつも会員数は減っていないことから、現状の一業種5名から原点回帰をした方が職業奉仕として望ましいのではないかという話がありました。また倫理運動としてのロータリーについて、ロータリーはどの様な団体ですかと聞かれた場合、「奉仕団体です」という答えでは他のボランティアクラブと同じになります。ロータリークラブとはロータリアンの仲間による親睦、助け合いから始まり、倫理を教え社会貢献することにより、互いを高め合うクラブです。つまりロータリーとは職業倫理の提唱を目的とした団体なのです。

<社会奉仕委員会>

安藤亨委員

リーダーからいろいろなお話がありましたが、その中で「奉仕の哲学」とは最も多く奉仕する者が、最も多く報われるものという実践的な論理に基づいて行なければならない、この奉仕は地域社会が本当に必要としているもので、なおかつクラブ会員の一致した協力を必要としたものでなければならない、という二つの大きな柱を元に考えていただきたいとのことでした。他にも、今年度は他のクラブの社会奉仕の活動について情報交換をしたらどうかというご意見や、またその中で中学校の職業体験にロータリーとして協力できるのではという話がでました。最後に社会奉仕はロータリーの活動の中で一番成果があがるものなので考えて実行して欲しい、単年度ではなく複数年度で効果を見る必要もあるのではないか、ということでした。

<国際奉仕委員会>

中島委員

国際奉仕部門分科会リーダー川崎南RC成田パストガバナーより国際奉仕の概念は「ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進する為に実施できるすべてのこと」であると話がありました。また国際奉仕の概念は次の4つに分類されます。1.世界社会奉仕活動 2.国際レベルの教育および文化交流活動 3.特別月間と催し 4.国際的な会合(ロータリー章典)です。手続き要覧をよく読んで理解していただきたいとのことでした。李東健 R I エレクトは子供達の死亡率低下を地区の奉仕プロジェクトの主な目標としたいとのこと、それに関して 1.保険と飢餓追放 2.水資源保全 3.識字率向上をあげています。当クラブでの30周年記念事業で桐光学園がモンゴルに机、いすを寄贈したことは趣旨に沿った国際奉仕プロジェクトですので、国際奉仕委員長会議でも発表していく予定です。

